

病院のこれまでの歩み、経緯

年月日	出来事
昭和27年	「 県立中野高原療養所 」が完成。病床数は244床。
昭和58年3月	県立中野高原療養所を廃止。
昭和58年9月1日	島根県邑智郡石見町に「 石見町立邑南病院 」として、診療科目は内科・外科・歯科の3科、病床数は50床で開業する。また、同年10月14日救急告示病院の指定を受ける。
平成5年3月1日	邑智郡7ヶ町村（石見町、瑞穂町、川本町、羽須美村、大和村、桜江町、邑智町）が病院事業の共同処理を行うため一部事務組合の設立について申請し、島根県知事の許可を得る。4月1日には、これまでの町立病院を「 公立邑智病院 」に名称及び組織変更するとともにへき地中核病院の指定を受ける。5月14日に病棟増築工事に着手、平成6年2月28日に新館棟が完成する。
平成6年4月1日	内科・外科・歯科に加えて整形外科・小児科・精神科を増設し、内科を2診体制とする。また、病床数を40床増やし90床とする。
平成9年8月4日	地域住民の要望から産婦人科及び泌尿器科を増設するための建設工事に着手、平成10年3月27日に新館別棟が完成する。
平成10年4月1日	内科・外科・歯科・整形外科・小児科・精神科に加え産婦人科・泌尿器科の2科を増設し8科とし、病床も8床増やし98床とする。
平成11年5月	内科を3診体制とし、また6月からMRI検査を開始した。
平成12年4月	介護保険制度の導入に伴い、邑智郡内の方を対象とした地域訪問リハビリ、郡内町村の委託に基づく集団機能訓練を開始する。
平成16年9月30日	病院組合を組織する構成団体から桜江町が脱退。
平成16年10月1日	町村合併により病院組合（邑南町、川本町、美郷町）が再編され、 邑智郡公立病院組合 を設立。
平成17年9月	オーダーリングシステム運用開始。
平成19年4月1日	麻酔科を増設。
平成19年12月	臨床研修医師受け入れ開始。
平成20年1月	地域連携室を設置。
平成20年7月1日	病児保育室「コスモス」開所。
平成20年8月	本館棟改修工事（アメニティの改善）
平成21年10月18日	病院敷地内に邑南町場外ヘリポート完成。
平成22年11月1日	マンモグラフィ検査開始。
平成22年12月1日	医療画像管理システム（PACS）導入。島根大学放射線科にて遠隔画像診断を開始。
平成24年2月	CT（コンピュータ断層撮影）装置を更新。（64列マルチスライスCT）
平成24年3月	透析関連装置一式更新。（全自動型透析監視装置・オンラインHDF対応）
平成25年2月25日	電子カルテ運用開始
平成25年12月	MRI更新。（1.5テスラ）
平成26年3月	研修棟を増設
平成26年10月	地域包括ケア病棟（41床）を開始。
平成30年5月17日	皮膚科を増設